

P  
〔単元の目標〕

- ・ 買い物のやりとりができる。
- ・ 欲しいものを英語を使って購入できるようになる。

D  
〔単元の目標の達成に向けた手立て〕

	手立て	資料
①	【ALTとの連携の工夫】・授業の目的や単元で身に付けたい力・表現等の指導内容、単元計画の共通理解等の事前打合せの充実 ・ALTと連携した言語活動の場の工夫	①
②	【教材の工夫】・ピクチャーディクショナリー、ピクチャーカード等、ICTを活用した視覚教材の工夫 ・児童の興味・関心を高めるオリジナルカード等の作成 ・児童になじみのある飲食店の設定（場面の設定の工夫）	②
③	【評価の工夫】・ALTと連携したパフォーマンステストの実施 ・振り返りシートを活用した児童の自己評価の工夫	—

C  
〔単元の目標の達成状況〕

- ・ 単元テスト、児童の振り返り、パフォーマンステストの結果から、80%程度の到達度だった。
- ・ 基礎表現の定着に課題が見られた。
- ・ 実際のお店の場面を想定しての授業展開をする中で、児童が主体的に英語を活用するようになった。

A  
〔改善の方向性〕

- ・ 児童の主体性を高めるために、目的・場面・状況の設定を工夫し、ALTと連携した言語活動を引き続き充実させる。
- ・ デジタル教科書の活用等、児童が主体となった、ICTの活用を進める。

## 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

### ①ALTとの連携の工夫

#### 〔児童（生徒）の活動〕

- **目的・場面・状況の設定を明確にした言語活動**
  - ・ ALTも交えて買い物のやりとりを行う。
  - ・ ALTを店員に見立てて模擬的に買い物のロールプレイを行う。
  - ・ ALTを客に見立てて、模擬的にレストランでのロールプレイを行う。
  - ・ ペアワークやグループ活動など様々な児童同士でやりとりを行う。

#### 〔教師の指導〕

- **ALTと連携した指導**
  - ・ ALTと教科担任がデモンストラーションを見せる。
  - ・ ALTが児童同士の活動を評価したり、発音や表現のサポートを行う。
- **ALTがロールプレイに参加する**
  - ・ 客役のALTとお店での買い物を  
するロールプレイを行うことで、  
状況に説得力をもたせるとともに、  
ネイティブの発音に触れる  
機会となる。

#### 〔工夫点〕

- **やる気を引き出す声かけ**
  - ・ 児童が失敗を恐れず発表ができる学級の雰囲気づくりを行う。
- **より豊かな表現**
  - ・ 英語への興味・関心を高めるために、ALTによる場面に合わせた多様な表現に触れる機会をつくる。

# 単元の目標の達成に向けた手立ての具体

## ②教材の工夫

### 〔児童（生徒）の活動〕

- 身近なものを活用しての表現活動
  - ・ ピクチャーカードを活用した発音練習
  - ・ 実際に児童になじみのあるお店のメニュー表やバインダー、注文票を準備し、教室をお店に見立てる。



### 〔教師の指導〕

- ピクチャーカードを活用した発音練習
  - ・ テレビ画面に絵や写真を表示させ、素早く反応し発音できるようにする。



### 〔工夫点〕

- ICTを活用した視覚教材
  - ・ ICT機器で教材を作成することで、児童に視覚的に提示できる。
  - ・ 教材をデータ化することで、教師間で共有できる。